

## 競技日程

競技順序 第1日目					
トラック競技					
NO		種 目	組	時刻	人数
1	女	混成100mH	1	9:00	5
2	男	混成100m	1	9:10	7
3	女	1500m	4	9:15	83
4	男	1500m	6	9:50	127
5	女	100m	14	10:35	108
6	女	OP100m	1	11:10	6
7	男	100m	19	11:15	149
8	男	OP100m	3	12:10	20
9	女	100mH	4	12:20	30
10	男	110mH	4	12:35	29
11	男	400m	12	12:50	91
12	女	400m	7	13:50	54
13	男	混成400m	1	14:20	7
14	女	混成200m	1	14:30	5
15	男	3000mSC	2	14:40	35
16	男	4×100mR	6	15:15	41
17	女	4×100mR	6	15:45	41

競技順序 第1日目					
フィールド競技					
NO		種 目	組	時刻	人数
1	男	砲丸投	1	9:10	31
2	女	砲丸投	1	9:10	24
3	男	混成走幅跳	1	9:40	7
4	女	混成走高跳	1	10:00	5
5	男	三段跳A・B	2	11:20	29
6	女	混成砲丸投	1	11:30	5
7	男	混成砲丸投	1	11:30	7
8	男	やり投	1	12:30	33
9	女	やり投	1	12:30	36
10	女	走幅跳A・B	2	13:30	46
11	男	走高跳	1	13:30	31

競技終了                      16:15

競技順序 第2日目					
トラック競技					
NO		種 目	組	時刻	人数
1	男	混成110mH	1	9:00	7
2	女	400mH	4	9:15	31
3	男	400mH	5	9:35	39
4	女	800m	8	10:00	60
5	男	800m	11	10:40	88
6	女	200m	11	11:30	85
7	男	200m	17	12:05	130
8	女	3000m	2	13:00	44
9	男	5000m	3	13:35	84
10	女	混成800m	1	14:50	5
11	男	混成1500m	1	14:55	7
12	女	4×400mR	5	15:00	34
13	男	4×400mR	6	15:35	41

競技順序 第2日目					
フィールド競技					
NO		種 目	組	時刻	人数
1	女	混成走幅跳	1	9:00	5
2	男	ハンマー投	1	9:00	2
3	女	ハンマー投	1	9:00	1
4	女	走高跳	1	9:30	20
5	男	混成やり投	1	10:30	7
6	女	混成やり投	1	10:30	5
7	男	走幅跳A・B	2	10:30	77
8	男	混成走高跳	1	12:30	7
9	男	円盤投	1	13:00	25
10	女	円盤投	1	13:00	16
11	女	三段跳A・B	2	13:30	20

競技終了                      16:15

顧問打合わせ      16:30 (予定)

県大会出場人数	トラック競技	19位
	フィールド競技	14位
	混成競技	2位
	リレー	22チーム
	競歩	制限無し

※走高跳、棒高跳は14名

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

- ①本大会は、2021年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟規則第162条の5. の(C)により、音声や動作その他の方法(ピク付き動作を含む)で他の競技者を妨害した場合、最初は注意(グリーンカード)に留めるが、繰り返し行う場合は、警告(イエローカード)を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
- ③シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)の厚さは、800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内とする。また、競歩競技は40mm以内とする。詳細はWAが承認したシューズのリストを参考にすること。  
※トラック競技については、規定より厚いシューズでの出場は認めない。フィールド競技については、ルール適用移行期間のため出場を認めるが、県大会までには、規定のシューズを用意することが望ましい。

## 2. 来場について

- ①本競技会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客で行う。
- ②来場者は、その日ごとに健康チェックシート(高体連用)を必ず提出すること。提出されない場合には参加(来場)を認めない。
- ③選手(部員)および引率顧問を原則とし、必要以上のスポーツセンターへの来場を控えること。

## 3. 練習について

- ①本競技場での練習は、開門(8時)からトラック種目のみとし第1競技開始15分前までとする。
- ②第2競技場での練習は、開門(7時)からトラック種目のみとする。
- ③練習は本競技場、第2競技場ともに次の通りを行う。  
1~2レーン周回練習、3~6レーン短距離・スピード・リレー練習、7~8レーンハードル練習
- ④跳躍・投擲種目の練習は、招集完了後、競技役員の指示により本競技場で行う。第2競技場での投擲練習は一切禁止とする。
- ⑤競技場備え付け以外のトレーニング用具を持ち込んでの練習は原則禁止とする。特にチューブやメディシンボールなど。
- ⑥第2競技場への入場および練習は選手のみとし、集団練習は禁止とする。
- ⑦園路における集団走は禁止とする。
- ⑧競技開始後、第2競技場でのピストルの使用は禁止する。
- ⑨雨天走路の使用は禁止する。

## 4. 競技場について

本競技場・第2競技場の競技走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。(競技規則143条)

## 5. 招集について

- ①招集所は正面玄関前に設ける。
- ②招集時間は以下の通りとする。

種目	招集開始	招集完了	現地招集
トラック競技	40分前	30分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	70分前	60分前	50分前
砲丸投・円盤投・やり投	70分前	60分前	50分前
ハンマー投	×	×	30分前
棒高跳	×	×	60分前

- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。
- ④競技者は招集開始時刻から完了時刻までに招集所に準備されたスタートリストに○をつける。
- ⑤招集完了後、トラック競技の選手は各ゲートの外で出発係の指示に従い、競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、現地招集時間に現地で点呼を受ける。(棒高跳とハンマー投は除く)

- ⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所競技者係に申し出て【同時出場届】を受け取り、必要事項を記入し提出すること。
- ⑦混成競技は両日とも最初の競技については、上記表の時間通りに招集を行う。当日の2種目目以降については、トラック競技は10分前、フィールド競技は30分前までに現地に集合する。(2日目の最初の種目は招集所で上記表の通りの時間で行うので注意すること。)

#### 6. 棄権について

出場種目を棄権する場合には、招集開始時刻までに【欠場届】を招集所競技者係に提出すること。  
【欠場届】は招集所で配布する。

#### 7. 入退場について

- ①本競技場・第2競技場ともに選手、競技役員および補助員以外の入場は認めない。
- ②本競技場は各校4名以内の入場を認める。但し、生徒または引率顧問に限る(ビデオ撮影可)。その際、顧問会議にて配布したIDカードを身につけなくてはならない。また、配布したIDカードは2日目の競技終了後に返却すること。入退場はメインスタンドでは、役員通用口右側の階段1カ所、芝生スタンドについては、第1または第3ゲートとする。観戦場所はメインスタンドでは、中段より上部、芝生スタンドでは最上部(コンクリート部分)のみとする。
- ③コーチングエリアを4カ所設置する。(メインスタンド・両サイドスタンド・バックスタンド)  
コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座り(ビデオ撮影)は禁止とする。
- ④入場の際、選手は「アスリートビブス(ナンバーカード)付きユニフォーム」を提示すること。
- ⑤本競技場への入場は第1ゲート(フィニッシュ地点前方)または第3ゲート(200mスタート地点)とする。以下のように入場ゲートを制限する。(第2・第4ゲートは開放しない)
  - ・第1ゲート:400m・800m・1500m・400mH・4×400mR
  - ・第3ゲート:100m・200m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mWフィールド競技は第1ゲート(フィニッシュ地点前方)または第3ゲート(200mスタート地点)とする。但し、本部前の通行は禁止する。
  - ・4×100mRに出場する選手の入退場は、1・2走者が第1ゲート(フィニッシュ地点前方)、3・4走者が第3ゲート(200mスタート地点)とする。
- ⑥トラック競技では競技終了後、荷物を取りに行き、極力ユニフォーム姿で入場したゲートから退場する。  
※着替えやシューズはスタート地点に残すことになる。その為、まとめられるような袋などを各自用意することが望ましい。その際、雨天になることも想定して準備すること。
- ⑦フィールド競技においては競技役員の指示に従い各通用門から退場する。
- ⑧更衣室は女子更衣室のみ使用することができる。出入りについては正面玄関とし、入場の際、選手は「アスリートビブス(ナンバーカード)付きユニフォーム」を提示すること。

#### 8. アスリートビブス(ナンバーカード)について

- ①アスリートビブスは2枚を胸部と背部にそのままの大きさをユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ②トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードをパンツ右側後方につける。

#### 9. リレー種目について

- ①リレー種目においては、競技規則に準じてメンバーを選出すること。
- ②リレー種目に出場するチームは、各招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙にオーダーを記入し提出すること。
- ③リレー種目に出場するチームは、原則同一ユニフォームで参加しなければならない。

#### 10. 計時について

すべてのトラック競技は写真判定(1/100秒)で行う。

同タイム者及びチームについては、写真判定を細部まで読みとり優劣を判定する。その際、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定する。

11. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りである。(天候、その他の条件で変更する場合もある)

種目	練習							
男子 走高跳	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	~3cm	
女子 走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	~3cm
男子 棒高跳	3m10	3m30	3m50	3m70	3m90	~10cm		
女子 棒高跳	2m00	2m10	2m30	2m50	2m70	~10cm		

◎第1位及び県大会出場決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では10cmとする。

※決定戦での記録は、県大会出場のための公認記録としない。

12. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意した物を使用する。ただし、個人所有の棒高跳用ポールは、検査に合格したものに限り使用できる。(検査は現地で行う)

13. 制限タイムについて

長距離・競歩種目において競技運営上必要と認めた場合は、レースを中止させることがある。

ラスト1周が以下のタイムを超えてしまった場合

男子5000m	18分	女子3000m	13分
男子5000mW	28分	女子5000mW	33分

14. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがつけられた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。

- ①上半身の衣類(製造会社名/ロゴ:1カ所:文字高さは縦4cm以内:トータルのロゴの高さ5cm以内:面積40cm<sup>2</sup>以内)
- ②ランニングベスト・レオタード(製造会社名/ロゴ:1カ所:文字高さは縦4cm以内:トータルのロゴの高さ5cm以内:面積30cm<sup>2</sup>以内)
- ③下半身の衣類(製造会社名/ロゴ:1カ所:文字高さは縦4cm以内:トータルのロゴの高さ5cm以内:面積20cm<sup>2</sup>以内)
- ④バック(製造会社名/ロゴ:2カ所:面積25cm<sup>2</sup>以内)
- ⑤ソックス(製造会社名/ロゴ:1カ所:高さ2.5cm以内:面積5cm<sup>2</sup>以内:シューズまたは、衣類製造会社名)
- ⑥帽子・手袋等(製造会社名/ロゴ:1つにつき1カ所:面積6cm<sup>2</sup>以内)
- ⑦競技者が競技中に衣類を2枚重ねて着用する(例えばベストの下にTシャツを着用する・ショーツの下にタイツを着用する)場合は、下に着用している衣類が露出していれば、広告その他の表示があってはならない。

15. 抗議について

競技規則第146条による。

16. 補助役員について

補助員として競技場に入場する際は配布されたIDカードを身に付けること。

17. 開門・場所取りについて

①本競技場

- ・本競技場スタンド裏の場所取りを希望する学校は、両日とも7:40にスタント裏中央ゲートに、ブルーシート1枚を持参の上、集合すること。
- ・スタンド裏駐車場側通路の場所取りについては、抽選は行わない。

②その他場所取り

- ・16号側緑地帯・時計台下・モノレール下・体育館側石畳へのテント等設置可
- ・第2競技場内へのテント設置はできない。(骨組みを置いて帰ることは可能)
- ※上記以外の場所取りは禁止とする。

③諸注意

- ・樹木等にロープを巻き付ける等の傷めるような行動は慎む。
- ・控え場所での三密の回避および消毒を徹底する。

## 18. その他

- ①競技会で発生した傷病については主催者側で応急処置をする。医務室はスタンド下フィニッシュ付近に置く。
- ②横断幕・のぼり旗等については、設置をしない。
- ③各学校の荷物は全て毎日持ち帰ること。競技場内保管はいっさい認めない。但し、テントの骨組みだけは、第2競技場に置いて帰ることができる。
- ④貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。
- ⑤トランシーバー・携帯電話・スマートフォン・ビデオカメラ・音楽再生機器等競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑥3000mSCに出場する選手は、安全のため必ずスパイクシューズを着用すること。
- ⑦三段跳の踏切位置は男子11m、女子9mとする。
- ⑧競技場での日傘の使用は禁止とする。但し、フィールド競技のみ天候に応じて認める。
- ⑨使用可能トイレは競技場見取り図を参照し、入場場所は次の通りである。雨天走路内トイレは正面玄関、コンコーストイレはメインスタンド裏各入場門とする。
- ⑩選手の本部への立ち入りを禁止とする。また、本部前の通行も禁止する。

## 19. 県大会出場について

トラック:19位 フィールド:14位(高さ種目は14人) リレー:22位 競歩:制限無し

混成競技:2位(その他全支部の上位8位)

同順位の選手が県大会出場人数を超えた場合は、顧問会議の決定方法により選出する。

## 20. 新型コロナウイルス感染症に伴う救済措置について

新型コロナウイルス感染症に関する休校や濃厚接触等の理由で、支部予選会へのエントリー(大会申込一覧表を提出)をしているにも関わらず、支部予選会に参加できなかった学校又は生徒については、「支部予選会の県大会通過記録と同記録以上を有する者」に、県大会への出場権を与える。

対象となる記録は、2020年8月1日以降の公認大会での記録(追い風参考記録も可)とする。なお、リレー種目と混成競技については、記録に関わらず救済する。

# コロナウイルス感染リスク軽減について

## 1. 3密(密閉・密集・密接)の回避

### ①ソーシャルディスタンスの確保

※人と人との身体的距離のここと、できるだけ2m最低1mを目安に間隔を空ける。

- ②こまめに手洗いまたは手指の消毒を行う。物の受け渡しは極力避け、避けられない場合も、手洗い・手指の消毒をする。

## 2. 共通事項

- ①大会当日(その日ごとに)、来場者すべての健康チェックシートを顧問がまとめて本部に提出する。提出されない場合は参加(来場)を認めない。

※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又当該在住者との濃厚接触がある場合

※提出前に、提出するデータをコピー又は写真に撮り、自身でも保管すること。

- ②運動時以外のマスクの着用、手洗い・洗顔を徹底する。但し、マスク着用による熱中症に気をつける。

- ③マイタオルを持参すること。

- ④トイレ使用後は便座の蓋を閉めてから流すこと。

- ⑤ゴミは各自持ち帰る。

- ⑥競技会参加者は競技会参加後、2週間以内に発熱などの症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの開催自治体の保健所(医師等)に報告・相談し、大会主催者に報告する。

### 3. 競技者

- ①ウォーミングアップは個別に行う。
- ②競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をする。
- ③更衣室の滞在は短時間とし、シャワールームの使用を禁止とする。※更衣室の開放は女子のみとする。
- ④運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- ⑤体液の付着したゴミは自己責任で処理する。(基本的に持ち帰り)

### 4. チーム関係者・応援・観客

- ①無観客で実施する。
- ②声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ③混雑を回避するため、競技者に付き添う者の競技場への入場を禁止とする。また、ウォーミングアップ場への立ち入りを原則禁止とする。
- ④ウォーミングアップ会場の観戦を禁止する。
- ⑤競技会終了後は速やかに帰宅すること。(ミーティングを行う必要がある場合は、三密を避けること)
- ⑥各校待機場所においては、必ずマスクを着用し、大声での会話や会話をしながらの食事は避けること。

### 5.トラック種目注意事項

- ①スタート位置やフィニッシュ後に留まることを短時間とする。
- ②レース中のマスク着用は義務づけがないが、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。但し、マスク着用による熱中症に気をつける。
- ③レース後、手洗い・洗顔を徹底する。

### 6. フィールド種目注意事項

- ①待機場所における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保する。
- ②投てき競技で用具を共用した場合、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。また、試技の前後に手指の消毒を実施し、競技中に不用意に手で顔を触らぬように注意する。跳躍種目における着地マットや砂場も同様である。
- ③滑り止め(炭酸マグネシウム)利用については、共有しない方法で実施する。競技役員から適量を受け取る方法や小分けにして競技者に渡す方法、また競技者の持ち込みも可とする。
- ④助走練習、投てき練習時に並ぶ時はソーシャルディスタンスを確保する。
- ⑤競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用する。

### 7. 個人情報取得の同意

- ①個人情報の取得目的に明記
  - ・競技運営目的以外に感染症予防対策目的として個人情報を取得する旨の同意を取得する。
- ②個人情報の第三者提供
  - ・大会主催者が保健所・医療機関等の第三者へ情報を提供することへの同意を取得する。
- ③個人情報の保管期間
  - ・取得した個人情報は大会終了後少なくとも1か月以上とする。
  - ・保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに廃棄をおこなうとともに、廃棄した証を保管する。